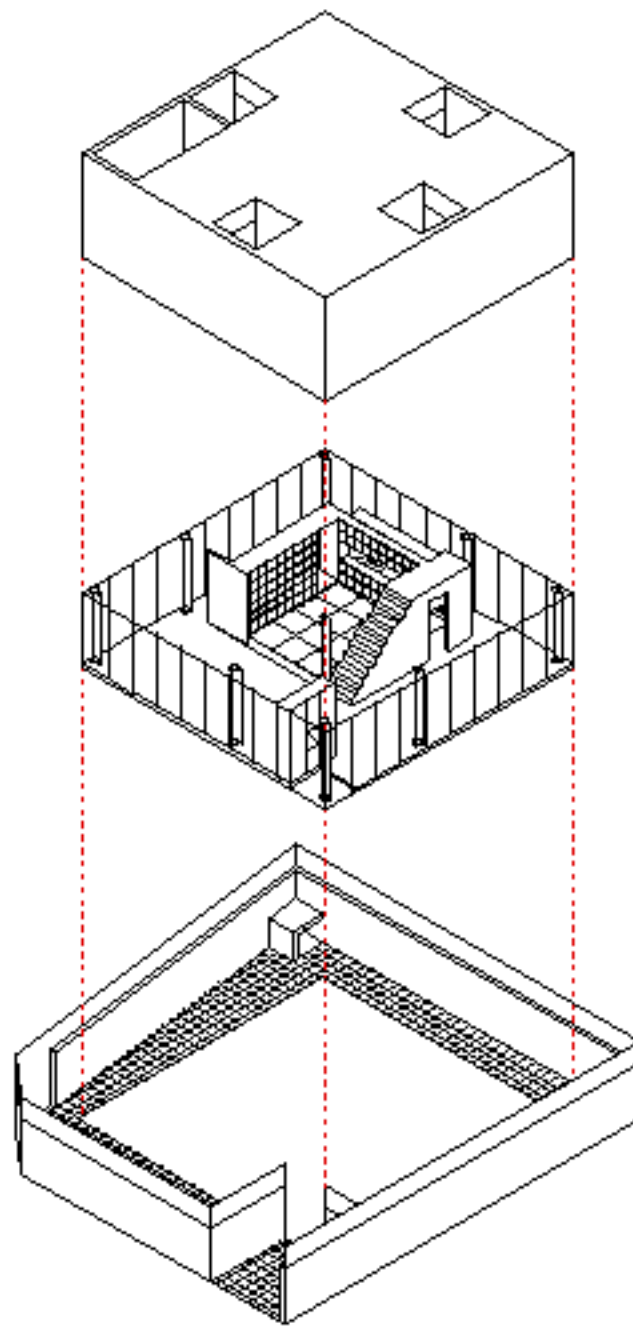
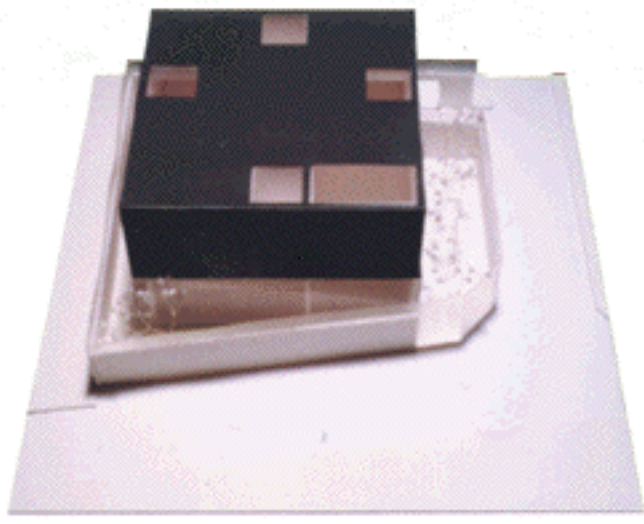
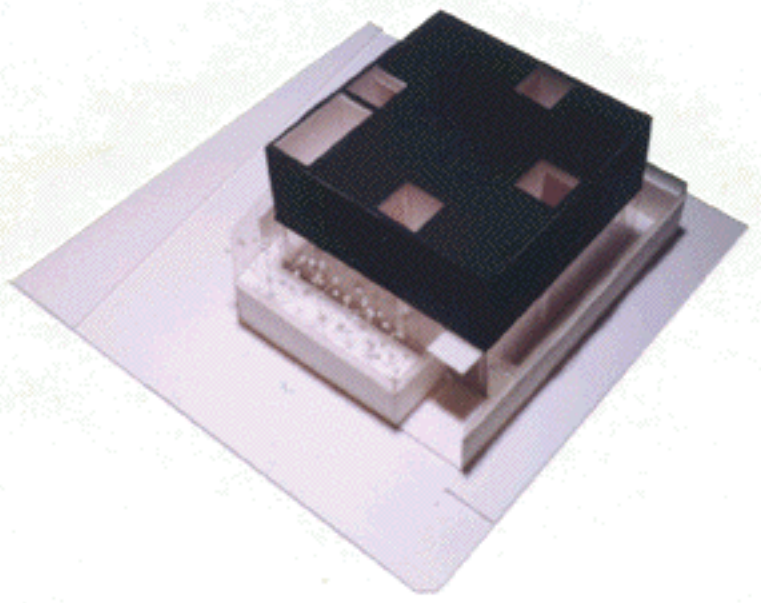


閉じつつ開く住まい



敷地周辺は特異、眺望を期待できることもない、平板な住宅密集地です。この環境のなかで、どのようにすれば、明るく開放的ながら、プライバシーを保持した住まいをつくることのできるのか、考えました。

答えはバリ島のコテージにありました。周囲を高い塀で囲い、四方からクリアランスをとった中央に、開放的な空間を配しています。この構成のメリットとして、現存する樹木をそのまま残せるという点があげられます。また外構部はメンテナンスの容易さも考慮して、コンクリート平板を敷き詰めることを考えていますが、これにより、内部と外部の床面が連続して、リビング、ダイニングは床面積以上の広がりを感じることが出来ます。四周の高い塀は、外部よりの侵入を困難なものとし、防犯性の向上にも寄与しています。

2階は、寝室や浴室といった、より高いプライバシーを求められる部屋が配されているため、中庭形式として、落ち着きと安心感のある空間づくりをしています。それぞれの部屋が2つの庭に面しているため、採光、換気面では十分な機能を果たしています。

1階の中央には「基地」があります。これは書斎、キッチン、和室、収納、階段をひとつにまとめたもので、モノを集中して配することにより、すっきりした印象のインテリアを実現しています。和室は縦型ブラインドで簡単に仕切れるようになっています。また、2階の子供部屋へは、この階段を通らなくてはならないため、子供の引き篭り防止にも役立つレイアウトとなっています。

